

令和元年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまち						
施策No.	25	施策名	豊かな長寿社会の実現						
主管課名	社会福祉課								
関係課名	健康センター、市民課、都市計画課								
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康で生きがいをもって、積極的に地域活動に参加しています。 ・高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けています。 								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市民・ 事業所	・自ら要介護状態になることを予防するため、健康の保持・増進や積極的な社会参加に努めます。							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味活動や就労事業など高齢者生きがい事業の充実を図り、社会参加の機会の確保に努めます。 ・地域包括ケアシステムを推進し、高齢者が安心して在宅で暮らせるよう支援します。 							
	その他 (地域)	・地域が主体となって、地域で暮らす高齢者を支援します。							
施策を実行する うえで基本となる 事業	基本事業①	社会参加の促進							
	基本事業②	地域包括ケアシステムの推進							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	36 (36)	38 (38)	25 (25)	25 (25)	25 (25)	23 (23)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	7 (7)	7 (7)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	5 (5)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	15 (15)	16 (16)	19 (19)	19 (19)	19 (19)	18 (18)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	14 (14)	15 (15)				
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	4,633,135	4,544,045	176,488	213,951	245,754	194,213
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	59,085	49,833	48,840	49,244	66,260	25,449
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	97,889	97,221	127,648	164,707	179,494	168,764
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	4,476,161	4,396,991				
基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円							
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	75	78	57	58	58	50	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	23,140	23,880	13,200	15,500	15,630	12,260	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	101,399	99,842	54,265	62,419	62,708	53,380	
F. トータルコスト（B+E）		千円	4,734,535	4,643,887	230,753	276,370	308,462	247,593	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	106,374	105,303	4,133	5,053	5,833	4,661
	G. 事業費（定義式：B/人口）								
	同 上		円	2,328	2,314	1,271	1,474	1,488	1,281
	H. 人件費（定義式：E/人口）								
同 上		円	108,702	107,617	5,403	6,527	7,321	5,941	
I. トータルコスト（定義式：F/人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672

基本事業概要シート①

施策 No.	25	施策名	豊かな長寿社会の実現
基本事業名	①社会参加の促進		
基本事業の目的(意図)	高齢者の生きがい事業の充実により、生活機能の維持と積極的な社会参加がはかられています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【老人クラブ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ連合会及び単位老人クラブ活動(68クラブ)に対し、全体で3,780,480円の活動事業費の補助を実施しました。 <p>【高齢者生きがい事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第32回全国健康福祉祭和歌山大会(ねんりんピック紀の国わかやま2019)出場選手に激励金(10,000円×4名)を渡しました。 高齢者の生きがいづくり事業においては、シルバースポーツ大会、芸能大会、趣味の手作り展など、スポーツ・文化の交流の場を設け、社会参加を促進しました。 <p>【就業機会確保事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の就業支援を行っているシルバー人材センターへ8,500,000円の活動補助を実施しました。 <p>【高齢者社会参加促進事業(地域介護予防活動支援事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者趣味教室運営事業においては、令和元年度は17教室を開講しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
老人クラブ加入率	%	35.4	30.2	29.6	30 28.8	31 29.0	32 27.8	33 25.8	33
高齢者の地域活動の延べ参加者数	人	28,000	16,418	16,913	17,000 14,405	18,000 13,794	19,000 14,581	20,000 12,651	21,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総計計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 老人クラブ事業	5,213,000	4,759,704	453,296	B	社会福祉課
2	一般会計	○ 高齢者生きがい事業	1,461,000	1,080,856	380,144	B	社会福祉課
3	一般会計	○ 就業機会確保事業	8,550,000	8,550,000	0	A	社会福祉課
4	一般会計	(旧)福祉センター運営事業(H30年3月31日で福祉センター廃止)	6,276,000	6,175,415	100,585	-	社会福祉課
5	介護保険事業特別会計	○ 高齢者社会参加促進事業(高齢者趣味教室運営事業)	4,913,000	4,883,097	29,903	A	社会福祉課
6							
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			26,413,000	25,449,072	963,928		

基本事業概要シート②

施策 No.	25	施策名	豊かな長寿社会の実現
基本事業名	②地域包括ケアシステムの推進		
基本事業の目的(意図)	医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」が構築され、高齢者が安心して在宅生活を送っています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【高齢者生活支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物サービス支援事業を行う3地区に対して、市社会福祉協議会を通じて助成し、その活動を支援しました。 <p>【介護予防・生活支援サービス事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援1・2及び事業対象者に対して、生活機能の低下を予防するための介護予防マネジメントを実施し、適切なサービスを提供しました。(再掲) ・旧福祉センターにおいて、通所型介護予防教室を延べ607回実施しました。 <p>【生活支援体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーター3名を配置しました。 ・魚津市生活支援・介護予防サービス体制整備協議体の会議を年1回開催しました。経田地区振興協議会が主体となった「経田コミュニティカフェ＆プラザ」(通所型サービスB)開設に向け、案内ポスター等の作成協力、指導員派遣などについて、推進委員会で協議しました。(推進委員会年6回、経田地区夜なべ談義1回) <p>【地域包括支援センター運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の各種相談窓口として、実態把握や関係機関との連絡調整を行うとともに、ネットワーク構築のための研修会・地域ケア会議を開催しました。 <p>【家族介護者支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅の家族介護者の介護負担軽減を目的に、おむつ等介護用品支給事業や徘徊探知機貸与を行いました。 <p>(令和元年度末:おむつ等介護用品支給対象者 468人、支給総額 13,610,507円)</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
自立高齢者の割合	%	82.1	82.5	82.4	83.0 82.1	83.0 81.9	83.5 81.5	84.0 81.1	84.5
在宅で生活している人の割合	%	93.6	95.9	95.9	96.0 95.9	96.0 96.2	96.5 96.4	96.5 96.4	96.5

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 高齢者生活支援事業	1,700,000	1,248,404	451,596	C	社会福祉課
2	一般会計	○ 在宅要介護者家族介護手当支給事業	1,710,000	1,494,000	216,000	B	社会福祉課
3	一般会計	在宅福祉推進事業	6,160,000	5,073,609	1,086,391	-	社会福祉課
4	一般会計	在宅高齢者等住宅改善支援事業	1,800,000	566,000	1,234,000	-	社会福祉課
5	一般会計	敬老事業	3,173,000	2,836,180	336,820	-	社会福祉課
6	一般会計	老人福祉施設入所措置事務	5,725,000	2,226,122	3,498,878	-	社会福祉課
7	介護保険事業特別会計	○ 介護予防・生活支援サービス事業	90,000,000	81,839,958	8,160,042	B	社会福祉課
8	介護保険事業特別会計	地域包括支援センター相談員設置事業	3,072,000	2,576,027	495,973	-	社会福祉課
9	介護保険事業特別会計	○ 地域包括支援センター運営事業	28,906,000	21,552,909	7,353,091	A	社会福祉課
10	介護保険事業特別会計	地域ケアマネジメント支援事業	70,000	23,463	46,537	-	社会福祉課
11	介護保険事業特別会計	○ 家族介護者支援事業	16,698,000	13,685,082	3,012,918	B	社会福祉課
12	介護保険事業特別会計	○ 成年後見制度利用支援事業	852,000	147,000	705,000	A	社会福祉課
13	介護保険事業特別会計	○ 配食・給食サービス事業	6,850,000	3,898,990	2,951,010	C	社会福祉課
14	介護保険事業特別会計	生活支援体制整備事業	6,715,000	6,644,723	70,277	-	社会福祉課
15	介護保険事業特別会計	地域ケア会議推進事業	466,000	159,497	306,503	-	社会福祉課
16	介護保険事業特別会計	サービス事業費審査手数料支払事務	364,000	311,430	52,570	-	社会福祉課
17	介護サービス事業特別会計	指定介護予防事業所事業	21,500,000	17,963,632	3,536,368	-	社会福祉課
18	一般会計	○ 高齢者向け優良賃貸住宅補助事業	7,095,000	6,516,800	578,200	B	都市計画課
19							
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		

合 計	202,856,000	168,763,826	34,092,174		
-----	-------------	-------------	------------	--	--

施策 No.	25	施策名	豊かな長寿社会の実現
令和元年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p>		
	<p>【①社会参加の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆老人クラブ加入率は、近年減少傾向にあります。令和元年度は26.0%で前年度対比1.8ポイント減少しました。黒部市、滑川市などの近隣市より低い数値となっています。単位老人クラブの数も減少しており、高齢者の地域活動の延べ参加者数も減少しています。 ◆シルバー人材センターの会員数は平成27年度末444人であったところ、令和元年度末553人で、大きく増加しています。 <p>【②地域包括ケアシステムの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域包括ケアシステムの推進のため、令和元年度から生活支援コーディネーターを3名配置し、公的サービスのみに限られない高齢者への生活支援の体制づくりを進めています。 ◆平成27年度から、3つの地区社会福祉協議会が実施している買い物支援サービス事業に継続支援を行いました。近年、自立高齢者の割合は微減、在宅高齢者の割合(施設入所者以外)は横ばい傾向にあります。 ◆地域包括支援センターを直営で運営し、社会福祉課内に設置しているので、予防事業や認知症対策はもとより高齢者の在宅生活に関する相談等にも柔軟に連携して対応できています。(富山市以東での委託市町村:富山市、黒部市、入善町、舟橋村) 		
	<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和元年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)</p>		
<p>【①社会参加の促進】</p> <p><老人クラブ事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市老人クラブ連合会や単位老人クラブの活動助成を行い、クラブ活動の活性化につなげました。 <p><高齢者社会参加促進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツや趣味活動、健康づくり教室といった多様な活動を展開することで、高齢者の社会参加につながりました。 <p><高齢者就業機会確保事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆シルバー人材センターでは、会員確保のための広報活動を積極的に行った結果、令和元年度末553人と前年度比46人増加しました。 <p>【②地域包括ケアシステムの推進】</p> <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経田地区主体の介護予防・日常生活支援総合事業「魚津市通所型サービスB(住民主体)事業」の創出を支援し、令和2年度の開所に向けた準備が整っています。 <p><高齢者生活支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市社会福祉協議会を通じて、買い物サービス支援事業を行う3つの地区社会福祉協議会へ助成を行い、高齢者の在宅支援の向上につながりました。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「魚津市地域包括支援センター運営方針」を策定し、センターの意義、目的、運営上の基本的な考え方を明確にしました。 ◆高齢者の総合相談753件のうち、104件について訪問実態把握に努めるとともに、地区でのケース検討会に32回参加し、地域での見守り関係者との情報共有を進めたことで、連携強化につながりました。 <p><在宅医療・介護連携事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆他職種が参加する研修会や地域ケア会議を2回開催し、顔の見える関係作りを進めたことで、関係者の連携強化につながりました。 			
<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p>			
<p>【①社会参加の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆減少傾向にある老人クラブの会員増に向けた活動助成を引き続き実施するとともに、CATVなどで活動内容を紹介します。 ◆旧福祉センターで実施していた通所型介護予防教室については、令和2年度から商業施設を利用した「さんさん介護予防倶楽部」として実施することになっており、開所から運営に向けて計画的に実施していく必要があります。 <p>【②地域包括ケアシステムの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生活支援コーディネーターの実効的な活用や、地域の実情にあった生活支援体制の整備について、地域とともに協議し構築していく必要があります。 ◆買い物支援など高齢者の自立に向けた取り組みにおいて、地域が主体的に活動できるよう働きかけを継続していく必要があります。 ◆介護予防・日常生活支援総合事業「魚津市通所型サービスB(住民主体)事業」の創出及び安定した事業継続に向け、引き続き地区と協議を重ねています。 			